

令和6年度 教育研究発表会

教育実践部門 中学校（外国語）

**「相手意識」をもって「伝えたいことを整理して読み手に分かりやすく書く力」
を高める指導の工夫**

長岡市立南中学校
太田 智哉（22年度）

Ⅰ テーマ設定の理由

○「英語学習に対する意識調査」（7月）

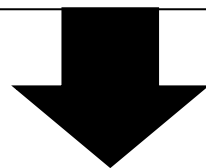
Q「英語学習で苦手なことは何か？」

「書くこと」：61.3%（49名）

<主な理由>

「単語や文法が分からない」 「単語のスペルが分からない」

「文法をうまく使いこなせない」



言語面

I テーマ設定の理由

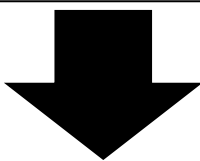
○ 「英語学習に対する意識調査」 (7月)

Q 「『書くこと』において具体的に意識していることは何か？」

「文章構成を意識して書く」 : 37.5% (30名)

「伝えたい内容を整理して書く」 : 28.7% (23名)

「読み手がどんなことを知りたいか意識して書く」 : 10% (8名)



相手意識

文章構成

伝えたいことを整理する

1 テーマ設定の理由

<育てたい生徒の姿>

- ① **相手意識**をもって文章を書くことができる。
(=読み手の興味・関心に目を向けようとする態度)
(=伝えたいことを分かりやすく伝えようとする態度)
- ② **自分の考えを整理**して文章を書くことができる。
- ③ 読み手にとって**より分かりやすい**文章を書くことができる。

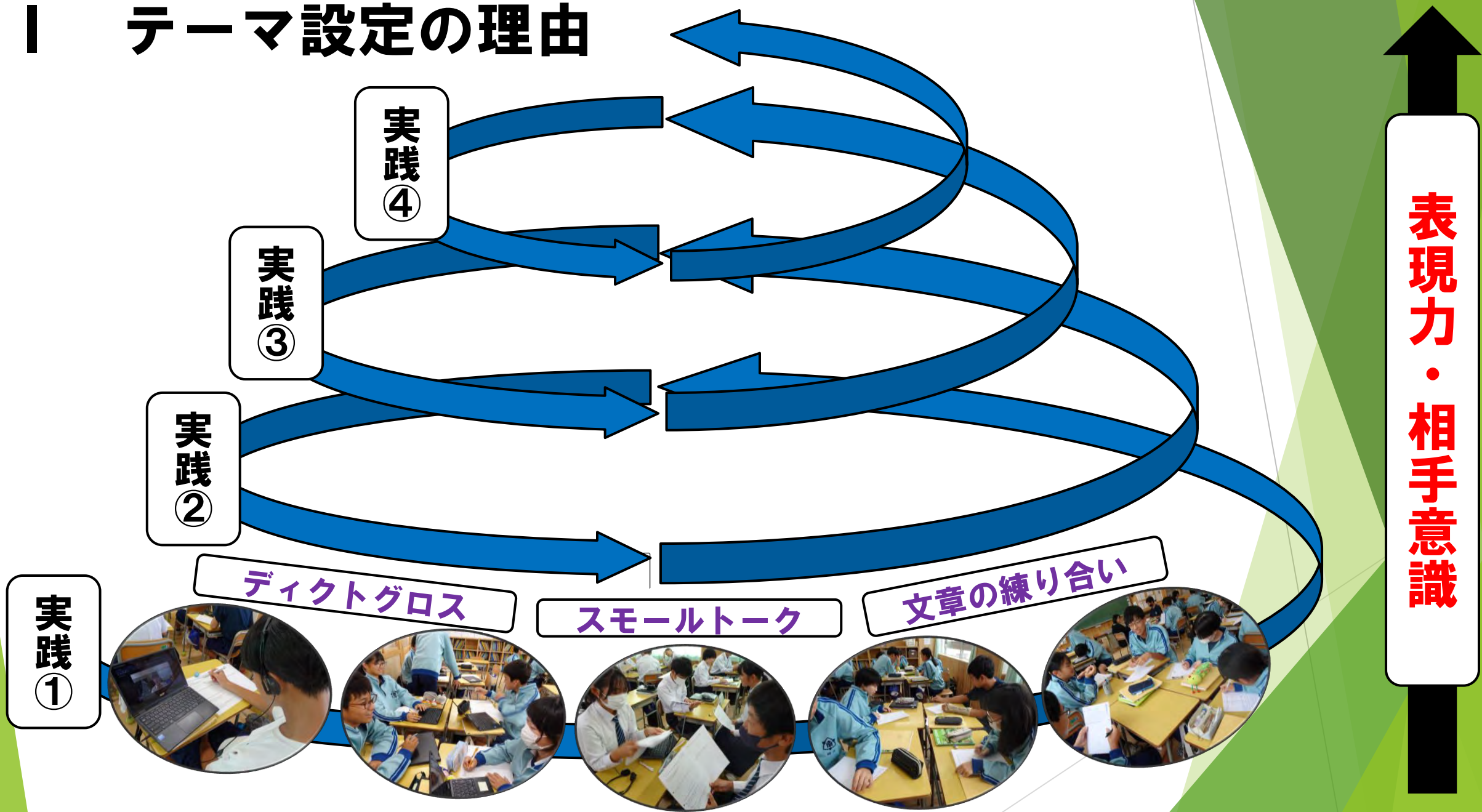


ディクトグロス

スモールトーク

文章の練り合い

I テーマ設定の理由



1 テーマ設定の理由

ディクトグロス

スモールトーク

文章の練り合い

言語面の充実
(知識を得る)

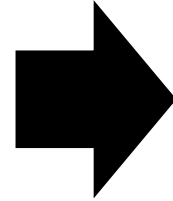
内容面の充実
(知識を広める・確認する)

言語面・内容面の
さらなる充実
(知識の定着・深化)

II 研究方法

1 ディクトグロス

まとまった英文を聞き、
キーワードをメモする
(リスニング)



キーワードをもとに
英文を書き起こす
(ライティング)

- オーストラリア人言語学者Wajnrybが提唱
- 第二言語習得 (Second language acquisition) で大切とされている「気付き」 (noticing) を重視した活動 (村野井, 2006)
- 言語技能統合型活動 (integrated language activity) (前田, 2021)

II 研究方法

1 ディクトグロス

＜ディクトグロスでこんな力が身に付く！＞

- ①英語を聞く力：概要を把握する力、必要な情報を聞き取る力
- ②英語を書く力：言語の正確さ（accuracy）
まとまりのある文章を書く力
- ③英語を読む力：表現や文法の違いに気を付けながら読む力
- ④ノート・テイキング力：適切にメモをとる力

（前田, 2021）

今回は、①・②の有効性を検証

II 研究方法

1 ディクトグロス

<基本手順>

- ①準備 (Preparation)
- ②書き取り (Dictation)
- ③復元 (Reconstruction)
- ④分析・訂正・話し合い (Analysis, correction, discussion)

【ポイント】

- ・言語面を意識して書く
 - ・文章の流れを意識して書く
- ※原文と全く同じでなくてもよい

II 研究方法

1 ディクトグロス

ディクトグロスをやってみよう！

【流れ】

- ① 音声を2回聞き、キーワードをメモする（1分）
- ② お近くの方4人でグループになり、日本語で話し合いながら文章を書き起こす（3分）
- ③ 原文と見比べ、修正する（2分）

II 研究方法

1 ディクトグロス

<本実践の手順>

- ①新出語句の導入・練習（3分）
- ②書き取り（5分）
- ③英文の復元・修正（10分）

II 研究方法

1 ディクトグロス

1 Dictogloss (20 min)

(1) Listen to Perry's speech many times. (5 min)

○Write down the important words you hear.

**英文(ALTの音声)を聞いて
語句をメモする(5分)**

(2) Reconstruct the paragraphs with your partner. (10 min)

**メモをもとにグループで
原文を書き起こす(10分)**

(3) Check the answer and correct your writings. (5 min)

II 研究方法

1 ディクトグロス

【目指した姿】

- ① **語句や文法に関する正しい知識**を身に付ける
- ② **自分が伝えたいことを整理する知識**を身に付ける
⇒ **文章の型**を身に付けることで
- ③ **相手意識**を高める
⇒ **読み手の考え**に触れることで

II 研究方法

2 スモールトーク

① スモールトークの型の提示

- ・ 数名の生徒との実際のやり取りを見せる。

② ペアで1分間話す（1回目）

- ・ 上手くできていない生徒へ助言する。

③ 中間指導

- ・ 「言いたいのに言えなかった表現」について確認する。
- ・ 会話を続けるための手立てについて確認する。

④ ペアを変えて1分間話す（2回目）

- ・ 上手くできていない生徒へ助言する。

II 研究方法

2 スモールトーク

【目指した姿】

自分が伝えたいことを整理する力を身に付ける

II 研究方法

3 文章の練り合い

- ①文章作成 (First Write)
- ②教師からのエラーチェック
- ③グループでの練り合い (Second Write) ・提出
- ④再チェック・練り合い (Third Write) ・提出

II 研究方法

3 文章の練り合い

【目指した姿】
仲間と協力し合いながら、**より良い文章**を書く

Ⅲ 検証方法

- 実施時期：令和6年8月～10月
 - 対象生徒：長岡市立南中学校 2学年生徒（3クラス）
 - 検証方法：①生徒が書いた文章の変容（作品）
 - ※ループリック評価
 - ②生徒の情意面の変容（振り返り）
- ①・②より、手立ての有効性を検証

IV 実践の実際

1 Lesson3での実践

(1) 題材と追及課題

【題材】 NEW CROWN English Series 2 Lesson3 Every Drop Counts

「水不足の問題」を解決するための海外での取組

- ・自由に水を使うことができる日本人には馴染みが薄い
- ・南中学校はユネスコスクールに指定

【追及課題】

「ユネスコスクールの一員として、ペリー先生に身近な環境問題について、自分の考えを分かりやすく伝えよう」

IV 実践の実際

1 Lesson3での実践

(2) 練習タスク

ディクトグロスは未知の活動



練習が必要

IV 実践の実際

1 Lesson3での実践

(2) 練習タスク

①新出語句の導入・練習

②書き取り

③英文の復元・修正

IV 実践の実際

1 Lesson3での実践

(2) 練習タスク

南中では「ユネスコスクール」の取組の一環で自分で出したごみを持ち帰っている

Topic: Do we need to bring trash to our houses?

I think we should put a trash can in my classroom.

I have two **reasons** for this.

First, it is easy for me to throw away trash.

Second, I don't bring trash to my house.

What do you think about that?

IV 実践の実際

1 Lesson3での実践

(2) 練習タスク

Ota's ^{I think} ^{in my class} trash. ^{in my classroom} I have two reasons. ² (1) First, ^{it's} easy for me to throw away trash.
1. easy. to throw away trash. Second. ^{in my house}
2. to my house. (wish) (9) What do you think about ~~that~~?

英文を聞いてメモする

(2) Reconstruct the sentences from your notes with your partner. (10 min)

I think that. wish put trash. Second, I don't clean in my house.
(1) I don't clean
I think we should put trash can in my ^{classroom} ^{what do you}
(3) Second I don't bring trash to my house

- ペアで話し合って文章を書き起こす
- 原文を見て丸つけをする

(3) Compare your sentences with the original text and correct them. (5 min)

IV 実践の実際

1 Lesson3での実践

(3) 実践①・②

- ALTが作成した英文をALTが録音
- 生徒にとってもALTにとっても
関心があるトピック

ディクトグロス



IV 実践の実際

1 Lesson3での実践 (3) 実践①・②

生徒もALTもゴミ問題について興味がある

Topic: Do we use too much plastic?

I think we use too much plastic.

Our food has plastic, our mail has plastic, everything has plastic. Plastic is very useful, but **I think** we should not use so much plastic.

We should always recycle and not buy lots of things. What do you think?

IV 実践の実際

1 Lesson3での実践 (3) 実践①・②

生徒もALTもエネルギー問題について
興味がある

Topic: Is nuclear energy good?

I think that nuclear energy is dangerous, but important.

It is very clean and makes a lot of energy. There were a few disasters, for example in Fukushima, but that is not common.

I think nuclear energy can become safe and useful.
What do you think?

IV 実践の実際

1 Lesson3での実践

(3) 実践①・②

- ・ ペア変えて4回 (2分×4)

スモールトーク



IV 実践の実際

1 Lesson3での実践

(3) 実践①・②

- ①教師からのチェック
 - ②グループでアドバイス・修正
 - ③必要に応じて教師からの再チェック→提出
- ※辞書のみ使用可

文章の練り合い



IV 実践の実際

1 Lesson3での実践

(4) 考察・省察

【ディクトグロス】

○メモの語数 ○話し合い

【スモールトーク】

○伝えようとする意欲 △会話が続かない

【文章の練り合い】

○仲間との協力 ○粘り強さ △書くスペースの確保

IV 実践の実際

2 Lesson4での実践

(1) 題材と追及課題

【題材】 NEW CROWN English Series 2 Lesson4 Uluru

USE Write 「行ってみたい国についてのエッセイ」

- ・ 相手意識をもたせることが難しい

【追及課題】

「ペリー先生の興味・関心を踏まえ、おすすめしたい国を分かりやすく紹介しよう」

IV 実践の実際

2 Lesson4での実践

(1) 題材と追及課題

【さらなる「相手意識」の追求のために】

ALTへの質問で得た回答を用いておすすめしたい国の紹介文を書く。

フォームで質問→ALTが回答→紙面で伝える

IV 実践の実際

2 Lesson4での実践

(2) ディクトグロス

- ALTも生徒も興味がある国
- 教師が作成→ALTが修正



IV 実践の実際

2 Lesson4での実践

(2) ディクトグロス

Topic: What country do you recommend?

I recommend Korea. I have two reasons.

First, you can eat delicious Korean food.

Bulgogi is very delicious.

Second, you can enjoy beautiful scenery. I like the scenery from N Seoul Tower very much.

I hope that you can go to Korea someday.

IV 実践の実際

2 Lesson4での実践

(2) ディクトグロス

Topic: What country do you recommend?

I recommend Italy. I have two reasons.

First, you can eat delicious pizza. My favorite pizza is margherita.

Second, you can visit the Colosseum. It is a famous World Heritage Site. When you go there, you can see the history of Italy.

I hope that you can go to Italy someday.

IV 実践の実際

2 Lesson4での実践

(3) スモールトーク

- ・ペア変えて2回（1分×2）



IV 実践の実際

2 Lesson4での実践

(4) 文章の練り合い

- ・ワークシートの改良



IV 実践の実際

2 Lesson4での実践

(5) 考察・省察

【ディクトグロス】

○英語を苦手とする生徒の取組の様子

【スモールトーク】

○互いのアイデアを吸収しようとする姿

【文章の練り合い】

○仲間との協力 ○粘り強さ

V 成果

1 抽出生徒のパフォーマンスの変容

I think we need to bring trash in my house.

I have two reasons.

First, reduceing trash is important to save environment.

Second, I think that [^] we try reduceing trash, that way!

We achievable objectives of SDGs!

知① : B 知② : A 思 : A 主 : A

△正確さ ○構成 ○理由・解決策 ○相手意識

V 成果

1 抽出生徒のパフォーマンスの変容

I think we use too much plastic.

For example, pens, boxes and chopsticks ~~made from~~ ^{of} plastic.

So plastic is very useful for our lives. ^{are}

But, ^{ok} plastic has many problems. ^{ok} Microplastic is very bad for fish lives.

I think we must always recycle and think about environment.
^{of plastic} ^{the} ~~problem of~~

知① : A 知② : A 思 : A 主 : A

○正確さ ○構成 ○理由・解決策 ○相手意識

V 成果

1 抽出生徒のパフォーマンスの変容

I think that nuclear energy is ^{ok.} dangerous.

Nuclear power plant's disaster is very ^{ok.} dangerous. ^{ok.} Because many people died by it

and some people can't go home for a long time.

知① : A 知② : B 思 : B 主 : B

○正確さ △構成 △理由・解決策 ○相手意識

V 成果

1 抽出生徒のパフォーマンスの変容

【First Write】

I recommend France. I have two reasons.

First, you can enjoy delicious food. For example, Boeuf Bourguignon, quiche, galette. (西洋の食べ物)

Second, you can visit some historical buildings.

There are many historical buildings in France!
Palais of Versailles built in 1682. (is/was (西洋の))

We can enjoy beautiful fountain show there.

Mont saint michel built in 908. It is an old monastery. (西洋の)

We can enjoy seeing the building.

I hope that you can go to France.

結果?

(You are interested in history and delicious traditional food. So I recommended France.)

I hope that you can go to France.

結果?

(You are interested in history and delicious traditional food. So I recommended France.)

V 成果

1 抽出生徒のパフォーマンスの変容

【Second Write】

I recomond France . I have two reasons .

First, you can enjoy delicious food . For example Boeuf Bourguignon, quiche, galette.

Second, you can visit some historcal buildings. There are many historical building_s in France.

Palais of Versailles is built in 1682. You can enjoy beauchful fauntain show there.

Mout saint michel is built in 708. It is an old monastery.

You can enjoy seeing the building. If you see the building at night, you can see more beauchful building it. You are interested in history and delicious traditional food.

So I recommended France . I hope that you can go to France.

V 成果

1 抽出生徒のパフォーマンスの変容 【Third Write】

I recommend France. I have two reasons.

First, you can enjoy delicious food. For example, Boeuf Bourguignon, quiche, galette.

Second, you can visit some historical buildings. There are many historical buildings in France.

Palais of Versailles was built in 1682. You can enjoy beautiful fountain show there.

Mont saint michel was built in 708. It is an old monastery.

You can enjoy seeing the building. If you see the building at night, you can see the more beautiful building. You are interested in history and delicious traditional food.

So I recommended France. I hope that you can go to France.

知① : A 知② : A

思 : A 主 : A

○正確さ

○構成

○理由

○相手意識

V 成果

2 生徒の振り返り

(1) ディクトグロス

【語句や文法に関する正しい知識を身に付けた姿】

- 音声を通して文法や文章の流れを新しく身に付けることができ、作文するときにとっても役に立った。
- まだ完璧に書くことはできないけれど、前よりは聞けるようになって、少しだけれど単語を書くことができるようになった。
- 単語の書き間違いが前よりも減った。
- 使い方がよく分からなかった語の使い方が分かるようになり、語彙力が高まった。

V 成果

2 生徒の振り返り

(1) ディクトグロス【自分が伝えたいことを整理する知識を身に付けた姿】

- ・行きたい国について、どんな流れで書けば相手に伝わりやすくなるかなどを考えて、すらすら書けるようになった。
- ・突然話が変わったりすることがないように、接続詞などを使いこなすことができるようになった。
- ・長文を聞いて、その内容を理解→似たような内容でよいから文を作る、という意識が必要だと思った。
- ・自分で英文を書くときに、自分の考えを伝えるにはどうすればよいか考えていたときに、英文を書き起こしたりしたので分かった。最初は何を書けばよいのかが分かったり、firstなどをつけたり、例を挙げたりできるようになった。

V 成果

2 生徒の振り返り

(1) ディクトグロス【相手意識を高めた姿】

- ペリー先生の考えなどを聞き取って、その後に自分が書く文章を想像してみたりした。
- 何を最初にもってきたら相手に伝わりやすいのかを考えられるようになった。
- ペリー先生に分かりやすく伝えるために、まとめりや英文を書く順番を考えることができた。

V 成果

2 生徒の振り返り

○スモールトーク【自分が伝えたいことを整理する力を身に付けた姿】

- ・声に出すことで何となく頭の情報が整理された。
- ・自分の頭で考えて整理し、英語で伝えることが増えてきた。
- ・自分なりに考えを整理できるようになったから良かった。
- ・話すことで自分が何を言いたいのかをはっきりさせることができた。
- ・スモールトークをしたことで、どんな内容なら自分がしっかりと話せるのかを知ることができた。
- ・話すことで自然な流れで話せるように意識できた。

V 成果

2 生徒の振り返り

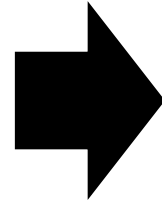
○文章の練り合い

【仲間と協力しながらより良い文章を書こうとした姿】

- **自分では気付かなかった間違いに気付いて、よりよい文章になった。**
- **仲間からのアドバイスを受けて、今まで使ってこなかった文法を知ることができ、表現の幅を広げることができた。**
- **自分ではどこが間違っているか分からないときに他の人に聞くことで、間違いを発見することができ、さらにチームワークも深めることができた。**

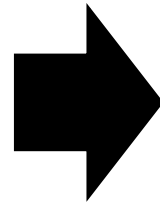
VI 課題

• 文章の内容の薄さ



• トピック選定
• 相手意識のもたせ方

• 型にはまりすぎた文章



• 豊かな表現
(例) 自分の経験など

【参考文献】

- 前田昌寛「『ディクトグロス』を取り入れた英語力を伸ばす学習法・指導法」開拓社 2021. 3
- 村野井仁「第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法」大修館書店 2006. 4

ご清聴、大変ありがとうございました